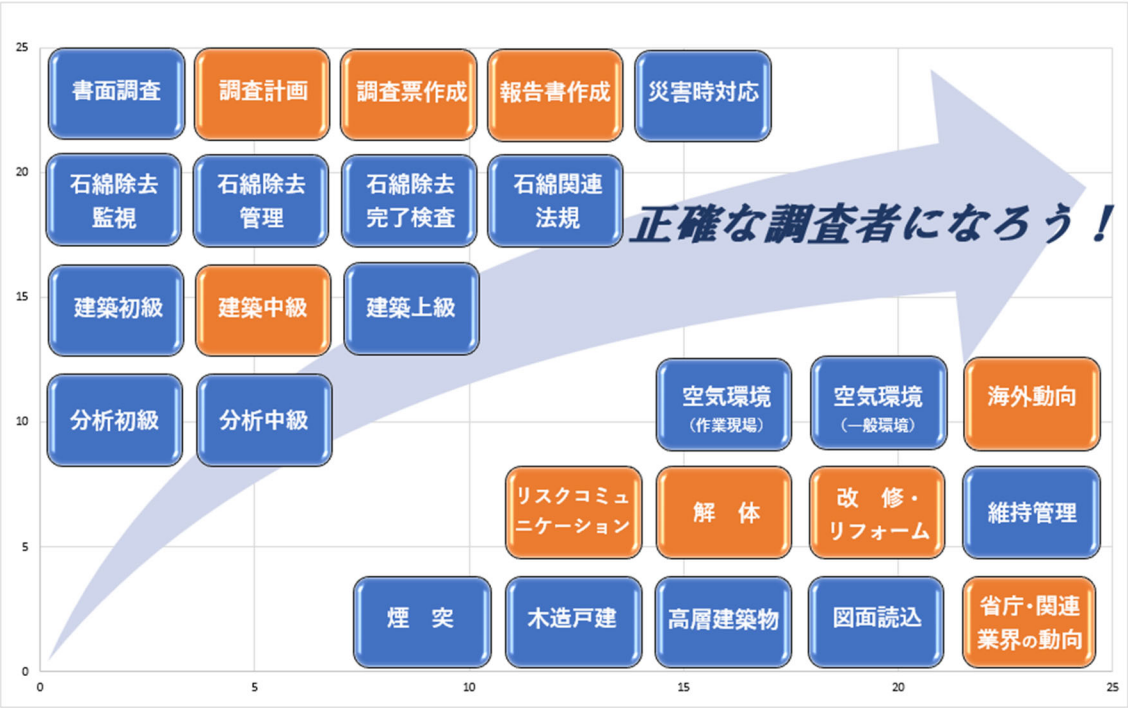
令和４年 11 月９日

石綿スキルアップセミナー

東京（ウェビナー）開催のご案内

今回のスキルアップセミナーでは、事前調査の質を高めるためのプロセスを中心に、調査の帳票や調査の失敗事例などについて学びます。事前調査の質の向上により、工期や工費の精度を高め、顧客満足度の向上と、周辺住民や労働者の安心安全の確保につなげられます。

ASA では、建築物石綿含有建材調査者に必要となる知識、経験をより広げ、深めるためにスキルアップ講習会を開催しています。講習内容のリクエストは事務局までお寄せください。



令和 4 年 11 月 9 日

＜開催日程・会場＞

募集人数：オンライン参加 150 名　／　会場参加 40 名

日時：令和５年２月７日（火）10：00～18：00

会場：ベルサール九段（最寄り駅　東西線・半蔵門線・新宿線　九段下駅下車）

※ 会場参加は特に、人数制限を設けております。定員になり次第締め切りますので予めご了承ください。

＜講演内容＞　（予定　※変更の可能性があります）

講演時間	講演内容
10:00～12:00	１．事前調査計画書の必要性と記載事項の提案
13:00～14:00	2．調査票と報告書の提案
14:10～14:40	3．建材製品情報（グレー建材）
14:50～15:50	4．やや深い建築の知識
16:00～17:00	5．リスクコミュニケーションガイドラインの解説と国際的動向
17:10～18:00	質疑応答

※ 会場には建材サンプル等の展示をしています。休憩時間にご覧ください。

＜受講料＞ １名あたり、消費税込み

ASA 会員：15,000 円、ASA 非会員： 30,000 円

※ ASA 入会条件を満たしている方が同時に入会申込される場合は、会員価格で受講可能です。入会には別途入会金および年会費が必要です。

前回会場風景　オンライン・会場参加者合計 160 名（令和４年２月開催）

令和４年 11 月９日

＜お申し込み手順＞

１．会員の方は、右の QR コードを読み取るか、次の URL をクリックしてお申込みフォームにお入りいただき、必要事項を入力して送信してください。

https://select-type.com/e/?id=AcONWlTqvzA

会員用

２．非会員の方は、右の QR コードを読み取るか、次の URL をクリックしてお申込みフォームにお入りいただき、必要事項を入力して送信してください。

https://select-type.com/e/?id=G83oyFBWY7k

非会員用

万が一開けないときは、メール koshukai@asa-japan.or.jp に、**講習会名称**、会員番号、お名前、オンライン・会場のどちらで参加されるか、をお知らせ下さい。

御請求書はメールでお送りいたします。期日までにお振込みください。

３．オンライン参加される方を対象に、事前に接続テストを行う予定です。

参加者側のセキュリティ設定等の影響によっては接続できない場合がありますので、事前確認にご協力ください。※オンライン＝ウェビナーには zoom アプリが必要です。当日利用される PC、タブレット端末等に事前にインストールしてください。

令和２年１月　会場参加風景（オンライン開催なし）

＜講演内容＞

1．　事前調査計画書の必要性と記載事項の提案

適切なプロセスを経て作成された事前調査結果報告書であることを証明できない報告書を拝見することがあります。「指定建材分析結果報告書」のような報告書です。この結果を信用することが、誤った事業予算の計画や不適切工事の原因となり、作業員のばく露や周辺環境への漏えいや拡散につながります。事前調査着手前に事前調査の計画策定が不可欠です。当該講座では解体等工事着手に至る事前調査を含む作業プロセスを例示し、プロセスにおける「事前調査」作業の位置づけを示すと共に、事前調査計画書作成例を元に、構成や策定に必要な内容をお伝えするものです。

2.　調査票と報告書の提案

事前調査で使用する調査票や報告書について、ASA 推奨の様式を提案します。書面調査から分析調査までの過程を確認できるもの、法規で求められる項目を網羅したもの、調査計画との関連性を示せる様式について詳しく解説します。

3.　建材製品情報（グレー建材）

建築物等に使用されてきた建築材料等は非常に種類が多く、建築物石綿含有建材調査者ならば誰もが″どこまでを調査対象とすべきか″という問題に直面します。この問題を少しでも解決できるよう、石綿の使用実態などが不明瞭な建材（いわゆるグレー建材）を中心に業界団体やメーカーなどにヒアリングを行い、その内容について情報提供を行います。

4.　やや深い建築の知識

事前調査の実務では、「調査ミス」を引き起こす要因が至る所に存在します。建築物にこの要因が存在し、事前調査で見落としてしまうことで「調査ミス」を引き起こします。調査ミス事例の中から、建築知識に関連する要因から引き起こされた事例について解説します。

5.　リスクコミュニケーションガイドラインの解説と国際的動向

環境省の「建築物等の解体等工事における石綿飛散防止対策に係るリスクコミュニケーションガイドライン」が 2022 年改訂されました。調査者として、

令和４年 11 月９日

調査結果を住民説明会等で報告しなければならない場面もありえます。この講習では、ガイドライン検討会の委員が、調査者にとって役に立つガイドラインの解説を行います。また、オーストラリアのリスクコミュニケーションガイドラインと欧州連合の最新の石綿の規制について解説します。

＜注意事項＞

● 複数名でのお申し込みの場合は、おひとりに対して１つのメールアドレスをご用意の上お申し込みください。

● 新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言等により、セミナーを延期、中止または内容を変更する場合があります。予めご了承ください。

● 会場参加の方は、アルコール消毒、マスク着用、検温等感染症対策にご協力ください。

● 受講料お支払い後のキャンセルの場合は返金できません。あらかじめご了承ください。

前回会場風景　オンライン・会場参加者合計 160 名（令和４年２月開催）

＜お問い合わせ＞

一般社団法人建築物石綿含有建材調査者協会　担当：松沢・富永

e-mail：koshukai@asa-japan.or.jp

TEL：03-6272-8745　　FAX：03-6272-8746

※基本メールでご連絡くださいますようお願い申し上げます。